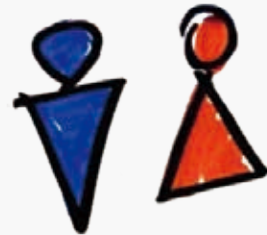


LGBTQ+の正しい理解が
未来を変える

高校生から広げる「アライ」の輪

WORKSHOP
REPORT



INTRODUCTION

はじめに

本冊子は、2021年8月17日に実施した多文化共生社会の構築事業の高校生ワークショップの内容をまとめました。多様な文化や価値観を認め合い生き生きと一体となって生活するインクルーシブ社会の実現のために、本ワークショップが、これからの社会を担う参加者の皆さんの第一歩になり、学びの記念になることを祈念し制作しました。

日立財団について

人を育み、未来へ繋ぐ

日立財団は、社会が直面する課題の中で「学術・科学技術の振興」「人づくり」「多文化共生社会の構築」の3つを中核領域とし、持続可能な社会の構築や国民生活の向上、さらには国際社会への貢献をめざす事業活動を行っています。2022年に日立製作所の財団活動が開始して55周年を迎えます。



名称 公益財団法人 日立財団
英文名称 The Hitachi Global Foundation
理事長 石塚 達郎
所在地 〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号
公式サイト <https://www.hitachi-zaidan.org/>
お問い合わせ hitachizaidan@hdq.hitachi.co.jp

ワークショップ概要

LGBTQ+^{*1}の正しい理解が未来を変える 高校生から広げる「アライ^{*2}」の輪

未来を担う高校生を対象に、LGBTQ+の人たちが抱える悩みや葛藤、社会で直面する課題について理解を深めた上で、一人ひとりの「ありのまま」の個性が尊重される社会を実現するため、他の参加者と一緒に明日からできることを考え、議論し、提案する。

※1 L=レズビアン G=ゲイ B=バイセクシュアル T=トランスジェンダー Q=クエスチョニング(自分の性的志向や性別認識に疑問をもち、悩んでいる人) プラス(+)=これらだけではない性の多様性

※2 LGBTQ+の当事者の理解者、支援者という意味



TIME TABLE

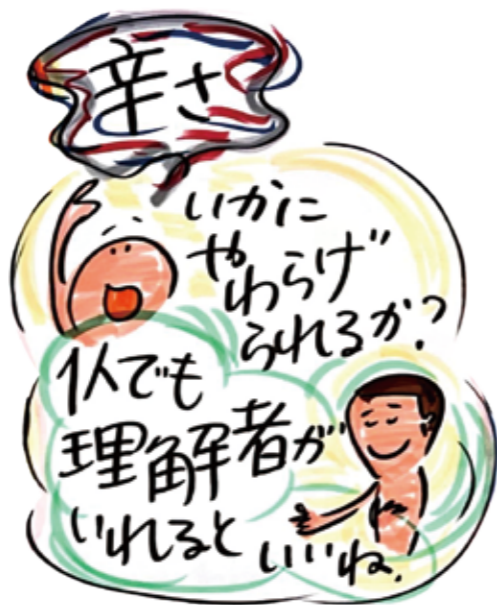
60min	杉山文野氏 講演 トランスジェンダー活動家による講演
20min	立場になりきるワーク ～アライな自分になるために～
30min	最終発表 学校の仲間に伝えたいこと～アライな私たちになるために～

開催日 2021年8月17日(火)13:00～17:00(オンラインワークショップ)
講演者 杉山文野氏
グラフィックファシリテーション 山田夏子氏
参加高校 都立板橋高校、都立国際高校、都立新宿山吹高校、深沢高校

立場になりきるワーク

杉山さんのお話を聞いて、5つの立場になり、
感じたこと印象に残ったことをグループワークで共有しました。

辛さは、友達でも
家族でも一緒である。
苦しみを楽にできるのは、
1人でも多くの
理解者がいること。



理解者を求めて
ネットに逃げるかもしれない。



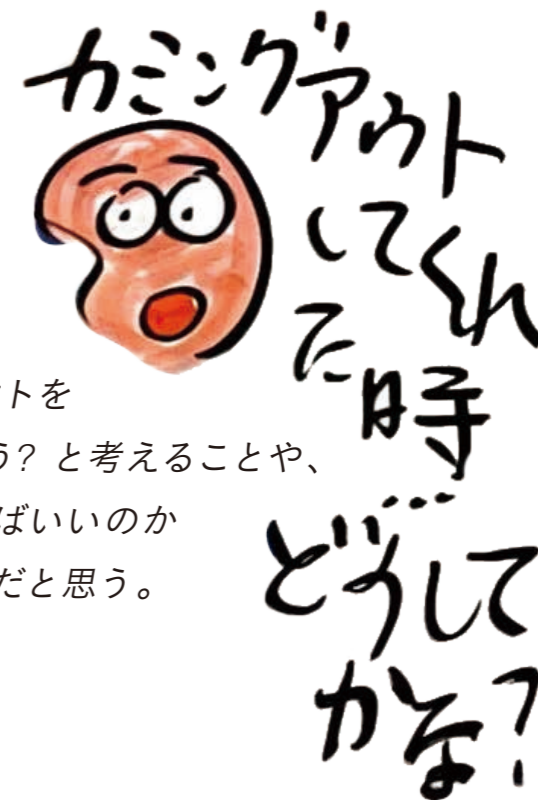
学校の外のコミュニティであれば
自分をだせるかもしれない。
うわさになるから学校では
本当のを言いにくい。



先生が当事者だったらどうするか?
生徒の立場で先生の話
聞いてあげられるか?
どうすればいいのか?
モヤモヤを感じた。

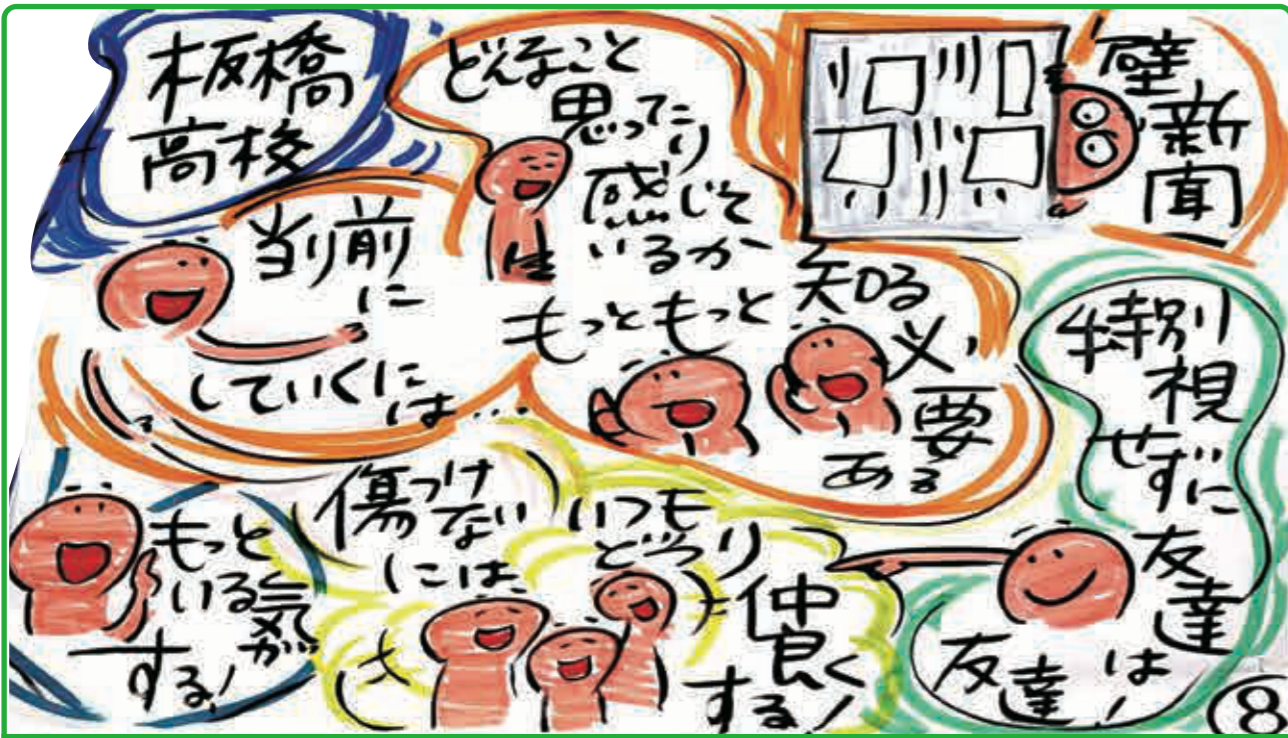


なぜカミングアウトを
してくれたんだろう? と考えることや、
ここからどうすればいいのか
考えることが大事だと思う。

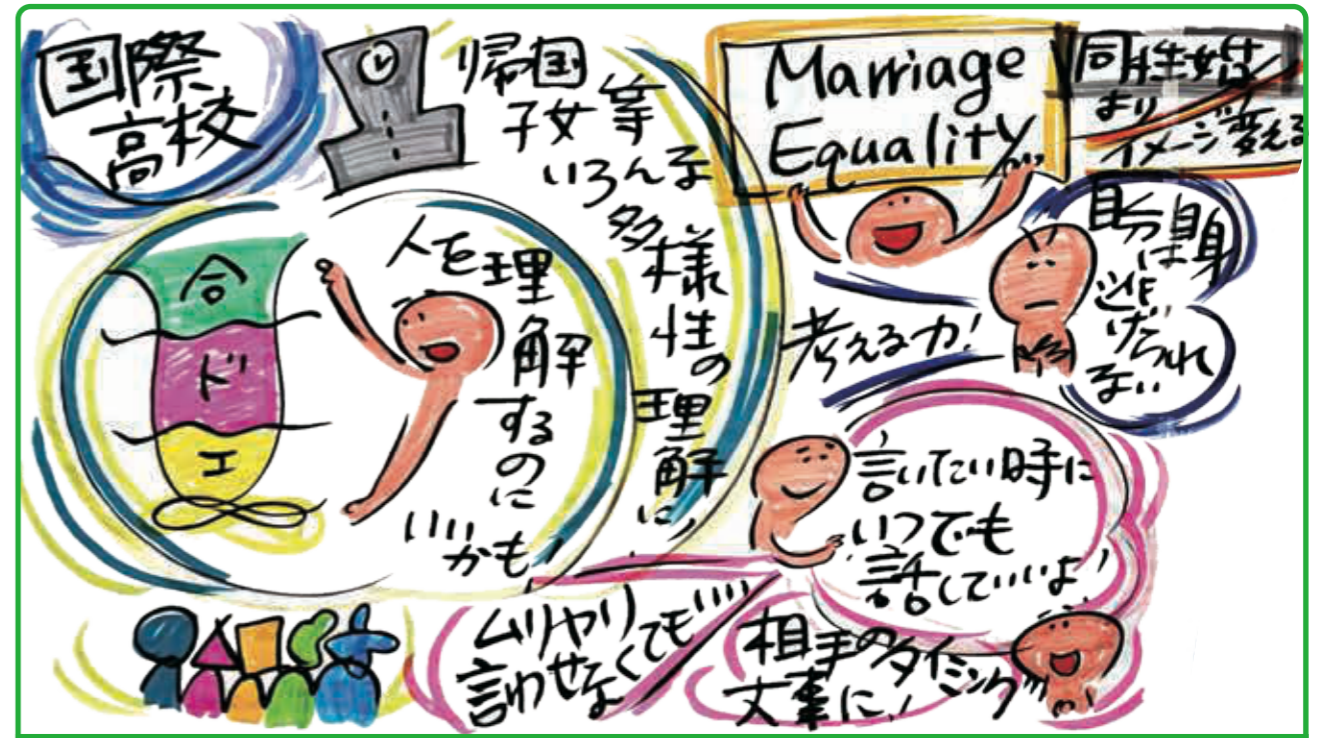


生徒たちの学び

先生は生徒に話せないことはしんどいと思う。理解したいと思う気持ちを伝えることが大事だと思う。もやっとしていることを本当に理解できている? 理解することは難しい。どこまで理解すれば「理解」したことになるのか。



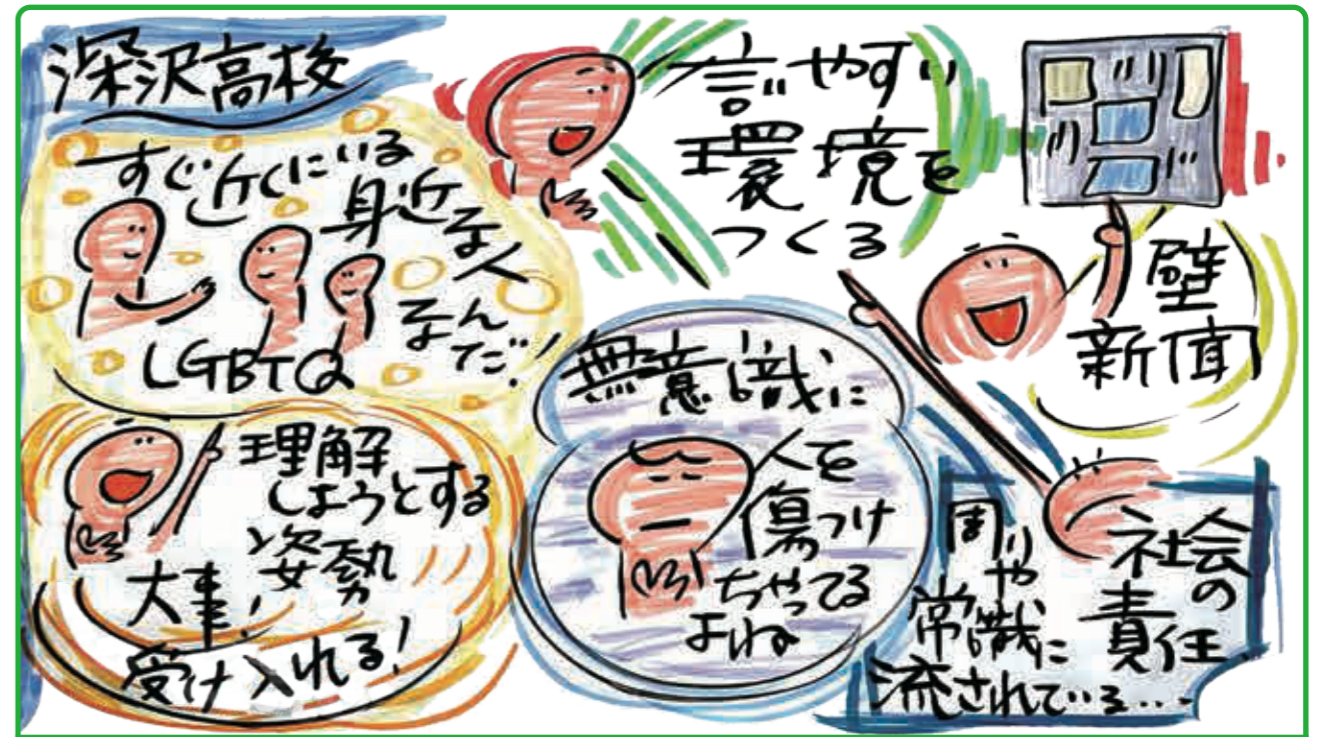
当事者の思いを広めていく必要があり、知ることによって理解者が増える。無意識に言葉で傷つけないように壁新聞で学校の仲間に伝えたい。当事者を傷つけない生活するためには、いつも通り誰とも仲良くすることが大事。



杉山さんのお話の中で、同性婚を「Marriage Equality」と表現することに共感した。違和感のない言葉を使うことで周りとその状況を自然に受け入れ「アライ」にもつながる。



学校で使っているWebサイトでこのワークショップの内容を伝えたい。このテーマの理解はきっかけ作りが必要なので、学校の総合学習で杉山さんにきていただきたい。



100の理解ではなく、理解する姿勢と受け入れることが大事。壁新聞で校内に発表し今後の取り組みを発表していきたい。無意識に人を傷つけることが多く「若いから理解がある」ことにながされていた。

杉山さんからの講評

皆さんの最終発表を聞き、僕が伝えなかった思いを受け止めてくれた内容でした。学校の仲間にどのように伝えるのか考え、具体的な提案もしてくれて皆さんが真剣に向き合ってくれたのが伝わりました。4校とも大事なポイントを押さえてくれたので嬉しいです。LGBTQ+に限らず、誰かを完全に理解することは無理だと思います。理解をしようとする向き合う姿勢が大事なので、このことを皆さんと共有できてとてもよかったです。

日立財団から

皆さんがワークショップの学びをどのように学校に伝えるか、アライとして明日からどのような思いで向き合うのか真剣に考えている様子が伝わりました。最終発表は4校とも具体的な次のステップが明確で感動しました。このワークショップの一人ひとりの正しい理解が学校の仲間に伝わり、その思いが広がリインクルーティブ社会に繋がるのだと思いました。

NEXT ACTION

ワークショップを終えて

ワークショップ終了後、事後課題として学校ごとに参加したメンバーで議論し、次に繋げるための方法について検討していただきました。具体的な企画案や、すでに発信した壁新聞学校もあり、本ワークショップでの学びが「アライ」として発信されることを確実感しました。

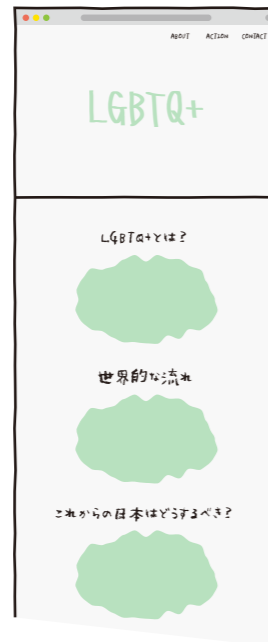
独自のメディアを作りたい!



都立新宿山吹高校

1. WEBサイトを制作したい!
情報科の有志、または授業の一貫としてWEBサイトを制作したいと思っています。

2. 杉山さんに来てほしい!
NASAの方や証券会社の方など、様々な方に授業をしていただく総合学習の授業で、杉山さんにも授業を行っていただきたいという意見が出ました。まずは話を聞くことから始めようと思います。



都立国際高校

1. 絵本を制作したい!
小さい子が親しみやすい形で、容姿や性格の個性と同じように性の多様性も当たり前として考えられる基盤を作る。

2. 学校でワークショップを!
今回のワークショップで行った「もし家族が、友達がLGBTQ+だったら?」立場を変えて考えてワークや、自分の見た目の性や好きになる性を書き込むワークなどを他の生徒にも体験してもらいたいと思っています。

実施したい内容

- 自分の見た目の性や、好きになる性を書く
- 学んだ内容を図で説明
- 人によって不快感を感じるかもしれない言葉を、どう言い換えられるかを考える
- 味方になりたいと思っている人がいるということを発信するにはどうすれば良いか、参加者と意見を交換する
- 立場になりきるワーク
- 私たちがワークショップを通して考えたことを話し、参加者にも参加した感想をさく

壁新聞で校内に発信!



都立深沢高校

もっとラフに受け入れていく環境が大切!
周りのみんな流されていませんか? 若い人は皆んなLGBTQ+に関して理解がある人も多いかと思いますが、でも本音はそうではないかもしれない...

都立板橋高校

受け入れようとする気持ちが大切!
「LGBTQ」とは、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダー・クィアの方のみを表すもの。性自認と性的指向を表す「SOGI」は、全ての人が対象となります...



MESSAGE

メッセージ



杉山文野氏 | 講師

みなさんからの素直な質問や意見は本質をつくものばかりで驚かされました。話を聞いて終わりではなく、そこからしっかり深掘りし、具体的な提案につなげていただき今後は楽しみです。終始アットホームな雰囲気でも楽しかったです。LGBTQの人も、そうでない人も、誰もが安心して安全に暮らせる社会の実現に向けて共に頑張りましょう! また是非一緒できるのを楽しみにしています!



山田夏子氏 | グラフィックファシリテーション

高校生のみなさんが、真摯に、興味を持って、聴き、考え、率直に語り合う姿がとても頼もしかったです! 未来はこうやって紡がれ、形づくられていくのだと思います。当日のワークでは、自分、友だち、先生、家族、世の中と、それぞれの立場になりきって湧いてきた想いをグラフィックファシリテーションさせていただきました。どうぞこの時の発見を自身の毎日の中に混ぜていってください。個々の心の中で思い描いている『こうなったらいいな』の未来を人に話し、磨き、叶えていく一歩を踏み出してほしいなと願ってます!

VOICE

参加した生徒たちの声

以前はLGBTQ+を理解することが大事と意識していたが、今回のワークショップに参加して、理解した“ふり”をやめようと思いました。

アライという立場に自分になるにはどうしたら良いのか考えることができ、意識が変わるきっかけになりました。

杉山さんの話をお聞き、自分の中に新しい知識を取り込むことが出来ました。別の企画があるようなら、また参加したいです。

学校の先生から勧めていただき参加しましたが、本当にあの場にいられて幸せだったと感じています。ありがとうございました。

杉山さんのお話や、他校の皆さんの考えを聞けて貴重な経験をさせていただいたことに感謝と参加して良かったという思いで一杯です。

LGBTQ+の方々と向き合い方、接し方がとても参考になりました。LGBTQ+の方々は意外と周りにいるんだということも分かりました。

